



## 今、新たなる出会いを！

(一社) 国際歯科学士会日本部会長

水谷 忠司

2016年度国際歯科学士会日本部会総会において会長として認証いただきました。日本部会が来年60周年を迎えるという大きな節目に会長として認証されました事は、私自身大変身の引き締まる思いでありますと共に、自らを精進して本会の発展のために努力いたす所存でございます。

私は、国際歯科学士会日本部会の綱領に掲げられた崇高なる奉仕の精神、そして定款等に定められた会員のあるべき姿について、これまで役員として繰り返し考える機会を頂いてきました。そして、現在のICD日本部会の現状を改めて鑑みますと、下記の課題が存在しているように思われ、私なりに提案をさせていただきます。

### 会員数減少の問題について

昨今の日本部会は会員数の減少という大変大きな問題を抱えております。

20年前には419名の会員を擁する活力あふれる会でした。その会がその10年後には355名に減少して、さらにその10年後の本年2016年には257名となりました。実にこの20年間に162名減少しております。

この現象の原因を「日本の歯科界の構造的変化」や最近取りざたされている「歯科医師過剰問題」などの歯科界全体が抱える問題の結果として理解すべきではないと思います。ここ数年を見ても毎年10数名の入会者があります。入会者の誰しものが期待を胸に入会をされた事と思います。会員として永く活動を継続していただくためにも、我々がICD日本部会の真の魅力を実感して伝えていくべきではないかと考えます。そのためにも新フェローの皆さんが諸先輩のフェローの先生方との出会い、その活力を発揮出来るような場所を、三大事業以外にも創出していくような具体策を構築する努力こそが我々の役目であると考えています。

### 支部の活性化について

現在も各支部で様々な活動がなされています。私の所属している中部支部では、積極的な国際交流・学術講演会の開催・フェロー同士の交流会など多くの先生の御尽力でフェロー自身が楽しみながら活動ができる環境が整えられています。このような雰囲気各支部にも広めてゆき、活動の原動力として地方会員の増強を計り、ICDの三大事業への積極的な参加誘導を発信して行きたいと考えています。

### 国際社会へのボランティア活動について

ICD日本部会の綱領にも掲げられているように我々は奉仕の精神をもって積極的に参加することが求められています。これまで培ってきた成熟した既存の海外ボランティア活動だけでなく、より活性化するために新しい世代の人たちのエネルギーをお借りして、まず一步を踏み出し、より多くの友好国との交流機会をもち、その関係性を深めて行きたいと考えています。

自らが求め、歩みだす事こそがICD日本部会綱領を实践する真のICDフェローです。役員並びに会員の皆様方からのご協力・ご助言を賜りながら、本会のさらなる発展を目指していく所存でございます。

## Make a wider circle of fellows locally and globally!

*TADASHI MIZUTANI*

*President of I.C.D., Japan Section*

It is a great honor to be elected as chairman of ICD Japan in 2016-2017, our 60th anniversary year. I will strive for the development of our society. At the start of my term, the proposal regarding the current issues facing ICD Japan will be shared.

### Dwindling membership

The biggest issue that ICD Japan faces now is the gradual decrease in its number of members. In 1996, our society had 419 enthusiastic members. Ten years later, the number of members decreased to 355, and the current number is down to 257. In my opinion, this trend should not be considered to be a general malaise of Japanese dentistry, such as a change of dentist age composition or an already large population of dentists in Japan preventing new memberships. What we should do is prevent the withdrawal of memberships. Indeed, more than 10 new members join our society every year. We have to inspire in new fellows the belief that they can achieve great things with senior fellows and also start a new project that they will actively join.

### Activating local branches

Some branches have been successfully managed with attractive activities, including international exchanges, academic lectures, and social gatherings. In such cases, members voluntarily act for their fellow members. I would like to spread out the respectable fellowship from some local branches to all of Japan.

### Volunteer activities

The ICD mission statement requires members to actively participate in volunteer activities. We already have valuable experience in conducting international volunteer activities, but even more and deeper camaraderie with foreign members is essential to activate our society. Global activity will provide a great opportunity for young fellows to accomplish ICD work with joy.

I believe that the ICD fellows will spontaneously and cooperatively achieve success. Thank you very much for your great support to the future development of ICD Japan.